

行政常任委員会

平成31年3月29日（金）

午前10時13分開 会

○南委員長　それでは、ただいまより行政常任委員会を開催させていただきます。

それでは、先ほど提案された議案第34号の最終補正の議案説明を求めます。

市長、ありますか。

○加藤市長　改めまして、おはようございます。

委員の皆様には、本会議に引き続き、行政常任委員会を開催していただきまして、まことにありがとうございます。

さて、本委員会に付託されています議案につきましては、議案第34号、平成30年度尾鷲市一般会計補正予算（第9号）の議決についてであります。財政課長より提出議案について説明いたさせますので、よろしく御審議いただき、御承認賜りますようお願い申し上げます。

○南委員長　ありがとうございます。

○宇利財政課長　おはようございます。財政課です。よろしくお願いいたします。

それでは、議案第34号、平成30年度尾鷲市一般会計補正予算（第9号）の議決につきまして、平成30年度尾鷲市一般会計補正予算書（第9号）及び予算説明書並びに行政常任委員会資料に基づき御説明申し上げます。

平成30年度一般会計補正予算書（第9号）及び予算説明書の1ページをごらんください。

今回の補正につきましては、第1条第1項にありますとおり、規定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ9,554万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ102億2,938万7,000円とするものでございます。

続きまして、第1表、歳入歳出予算補正の内容について御説明申し上げます。

8ページ、9ページをごらんください。

2款地方譲与税から6款地方消費税交付金まで並びに、次ページをごらんください。7款自動車取得税交付金から10款交通安全対策特別交付金につきましては、いずれも平成30年度交付額確定に伴う補正であり、2款から10款までの補正額は9,554万6,000円の増額でございます。

続きまして、歳出でございます。

次ページをごらんください。

2 款総務費、1 項総務管理費、3 目財産管理費は、補正額 9,554 万 6,000 円を追加し、9 億 8,014 万円とするものでございます。全額、財政調整基金への積立金でございます。今補正の結果の年度末基金残高見込みでございますが、資料をごらんください。今回の補正での財政調整基金の積立額が 9,554 万 6,000 円となり、財政調整基金の平成 30 年度末残高は 7 億 2,605 万 4,000 円となる見込みでございます。

なお、平成 30 年度の財政調整基金残高見込みの変更に伴いまして、平成 31 年度第 1 回定例会の行政常任委員会でお示しいたしました平成 31 年度末財政調整基金残高見込みも 2 億 395 万 6,000 円から 2 億 9,950 万 2,000 円と変更となっております。

説明は以上でございます。

○南委員長 説明は以上でございます。

ただいまの補正予算について、御質疑のある方は御発言を願います。

○奥田委員 今回、年度末なので地方交付税とかの追加の交付があったということで、本当に助かりますよね、最後、こういうのがあると。

それで、地方交付税なんですけど、5,700 万ほど追加の交付があって 35 億 6,500 万ということなんですけど、これはどうなんですか、例年並みなんですかね。実績としてはどうなんですか。

○宇利財政課長 前年度より約 1,000 万円程度減少をしております。

○奥田委員 やっぱり有利な起債とかがあるとか、7 割バックの過疎債があるとか、いろいろあるじゃないですか、減災・防災のやつもそうですけれども。そういうながらうまいこと調整されるんですよ。結局、ふえていかないんですよ。地方交付税というのはね。だから、掛け率ですよ、上手に掛け率があるからなんですけど。だから、その辺のところ、ちょっと悔しいなという感じがしておりますけど。

地方交付税も減っているという状況の中で、財調が 9,000 万ほどふえていますけど、3 億ないんですよ、2 億 9,000 万ということで、非常に財政的な、厳しいですよ。そういう中で、きのうも市長は景気のいい話をかなりしていましたけど、釣り棧橋がどうのこうのとか、この辺の財政見通しというのはどうなんですか。僕は非常に不安でしょうがないんですけど、その辺、市長はどう考えていますか、財政見通しは。何回も同じようなことを聞いていますけど。

○加藤市長 前回お示しさせていただいた 2019、20、21 年度一般財源か

ら2億5,000万を目標として、見通し額を提出させていただきました。

そういった中で、財政調整基金につきましては、そのときの見通しとしましては、最終的に3億768万8,000円という見通しを立てておりましたんですけども、御指摘のとおり3億を切った2億9,950万2,000円、当初の財政調整基金の目標額よりも現状では818万6,000円マイナスになっているというのが事実でございます。

2020年、2021年につきましても同じような形の中で財政が緊縮しているというのは事実でございますし、その見通しをきちんと出させていただいて、あとはその数字に従って運営を行っていきたい、このように考えております。

- 奥田委員 その辺、非常に厳しい状況ですけど、ただ、市長、2億5,000万減らしたと言いながら、病院の繰り出しを5,000万減らしたやないですか、4億7,000万のね。5,000万減らして、病院のほうが一時的借入金として借金がふえて、それで一般会計が減ったからいいんだというような、それはちょっと僕はいかなものかと思うんですけど、今後、やっぱり連結で考えないといけないと思うし、市長は3年間の財政見通しを示したと言っていますけど、本当の概略の概略ですけど、でも、もうちょっと中長期的な展望見通しを示してもらわないことには、僕は不安ではないんですけどね。市長の景気のいい話ばかりが聞こえてくるものですから、本当に余計に不安になるんですけど、その辺、いかがですか、市長。
- 加藤市長 何度も申し上げますけれども、2019年度から2021年度の財政見通しの中で、まず、それを運営について粛々とやっていく、それに限ると思っております。
- 南委員長 他にございません。
- 三鬼（和）委員 8ページ、9ページ、10ページ、11ページの中で、2款地方譲与税の2項1目自動車重量譲与税と、それから、7款自動車取得税交付金の中の同じく1項1目自動車取得税交付金になっておるんですけど、これは前年度比と比べると、経済の動向というか、自動車から見る経済の動向として、ふえているの、減っているんですか、どうなんですか。
- 宇利財政課長 動向としては、若干減少傾向はあるかと思えます。一時期、軽自動車税の登録台数がふえて、普通自動車のほうの登録台数が減っているというような状況の中で、自動車取得税交付金は減少傾向にあったと。重量税のほうについては、登録台数等の変更がそんなに今のところないので、均衡したような形で来ているというのが現状です。

来年度以降の見込みについては当初予算の折にもお話しさせていただいたとおり、自動車取得税というものがことしの10月1日から廃止されるということで、それが環境性能割というものになるという中で交付金の推移がちょっと読みにくいような状況で、現状の来年度の環境性能割の数値については県から示された数値と同額を予算として置いてあるという流れで、今後については、実際、制度が始まってみて何年かしていかないと、動向についてはちょっと読みにくい状況じゃないかなというふうに考えております。

○三鬼（和）委員 これらについては、人口減少の中で自動車を持っておるとい
うか、取得というものが減ってくるという見込みもある中で、税の勘定の仕方も変わ
ってくるもんだとは思いますが、全般にやっぱり減ってきたら新しい税法にな
っても減って、ふえることはないね。

○宇利財政課長 増額傾向にはならないとは思いますが。

○南委員長 他にございませんか。

先ほど交付税がマイナス1,000万円ということなんですけれども、特交のほ
うはどうやったんですか。それだけ、参考までに。

○宇利財政課長 先ほど申し上げた減少というのが特別交付税のほうの減少額、
今回の補正につきましては、普通交付税のほうについては従前から置いてある数字
が今のところ変更はかかっておりませんので、今回の補正の要因については全て特
別交付税ということで御理解いただきたいと思っております。

○南委員長 よくわかりました。

皆さん、よろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○南委員長 それでは、執行部の方、退席をお願いいたします。

それでは、付託議案の採否の決定を行いたいと思っております。

議案第34号、平成30年度尾鷲市一般会計補正予算（第9号）の議決について、
原案に賛成の委員の挙手を求めます。

（挙 手 全 員）

○南委員長 挙手全員でございます。よって、可決すべきものと決しました。

また、報告として、4月17日に各学校の立木伐採の視察を午前中させていただ
いて、午後からおわせSEAにまつわる議長のほうから全員協議会を開催予定でご
ざいますので、あわせて御連絡を申し上げます。

（「17日」と呼ぶ者あり）

○南委員長 17。

以上で終わります。ありがとうございました。

(午前10時25分 閉会)